

## 蒜場山、御神楽岳報告 2010、6/5～7

6/5 (土) 自宅 17:15～買い物、夕食～19:25 糸魚川IC ～21:25 豊栄PA 車中泊。

6/6 (日) 3:40～聖籠新発田IC経由～5:15 加治川治水ダム登山口 P 6:35～11:20 蒜場山 (1363M、甲信越百名山96座目) 12:35～16:05 P 16:15～17:15 三川温泉.YOU&湯入浴 17:55～18:35 室谷登山口 P

急遽3年前北海道の白銀荘の自炊食堂で同席になった、越後美人の3人組が同行してくれる事になった。その内の一人はとても綺麗な写真付きの「メルマガ」を発信していて、私は何時も楽しく拝見していた。特に登山道脇に咲く花の写真はとても綺麗です。出発する頃には駐車場は満杯。なかなかの人気の山だ。登山道は急坂が多い。鉦山があったとの事で、トロッコの線路跡も残っている。よくこんな急な所に作ったものだ。虫がしつこくて閉口する。お世辞にも快適な登山とは言えないが、カタクリ、シラネアオイ、キクザキイチゲ、タムシバ、ムラサキヤシオツツジなどが癒してくれる。花に詳しい人達なので勉強にもなる。ヒメサユリのも教えてくれた。蕾がある。兎に角ヤセ尾根に登山道がのびているので、蛇の心配はなさそう。山頂には残雪が残り、雪上で美人達が持参してくれた手作りの味を頂く。ご馳走様でした。天気も良くて眼前の飯豊連峰などの展望も素晴らしい。帰路は膝に悪い急坂の下山となる。美人たちと駐車場でお別れし、三川温泉で入浴し、津川のコンビニで缶ビール購入し、御神楽岳の登山口に向かう。登山口には案の定私の車のみ。美女達に頂いた手作りのつまみを頂き孤独な宴会をする。何時もはサキイカ、ピーナツ類が定番であるが、心使いに感激。菊水「ふなぐち」は私の好きな新発田市の名酒である。独特の香りとこくがある。薄暗くなる。こんな寂しい所で一人とは、気の小さい小生はしみじみ寂しくなる。歯を磨く気もなくなり、早々と寝る。携帯も「圏外」である。夜中に小便はどうでしょうか？



6/7 (月) 5:35～9:15 御神楽岳 (1387M、97座目。) 10:00～12:15 P 12:30～13:10 御神楽温泉 あすなろ荘 入浴 13:55～14:15 津川IC～16:50 糸魚川IC～19:30 自宅。

目が覚めてすぐ、車外を見る。矢張り車は見あたらない。今日は登山者は居ないだろう。ラーメンを作って食べる。蛇の出ないうちに歩こうと仕度をしていたら何と足立ナンバーのバスが来た。13人位の団体である。「ラッキー」と心の中で叫ぶ。この団体の後をついて歩けば蛇の心配はない。所が少し歩いた所で、先に

行ってくれと言われてしまう。登山道は幅広く手入れもされていて、草もないので、蛇がいてもふんずける心配はない。昨日とは違って開けた地形なので、蛇は多いだろう。案の定7:35に青大将に脅かされる。急な坂も無く歩き易い登山道である。コシアブラを採りながら登ってもコースタイムより15分早く山頂に到着。団体も間も無く到着する。予想以上の天気で360度の展望。昨日の蛭場山も、二王子岳もハッキリ見える。団体は15分ほどで下山する。昨日は栗ヶ岳に登山したとの事。65~70歳である。忙しい登山である。もう少し景色を楽しんだりすればと思うのだが。方位盤に弁当を広げて食べているのだから。首をかしげた。30分後に下山した小生が追いつけないのは当然。バスの姿もなかった。御神楽温泉でバスは見たが。登山途中で花の写真も撮ってられないのでは？と余計



な事を推測する。ツアー登山の悪い一面を見た。山頂から見下ろす蟬ガ平コースは確かにヤセ尾根が続いている。高所恐怖症の人は通過できないであろう。予想以上に登山者が登って来た。2人組が3組。単独が3人。全員に聞いたがほとんどの人が矢張り蛇を見たといっていた。此処も虫がしつこい。今まで虫で閉口したのは、今回の2座と飯豊山、八ヶ岳の八柱山の山頂位か。兎に角立ち止まって休めない。この時期の宿命か？

地元の人達はさすがに「虫対策」が徹底している。山頂に着くとまず蚊取り線香をつけたりする。ただ気になるのは「熊」対策がほとんど無い事だ。この山も何箇所かに「熊注意」の看板が出ていたが、鈴など着けていた登山者は見あたらなかった。花はショウジョウバカマ、ムラサキヤシオツツジ、カタクリ、タムシバ、そして此処はサンカヨウが大きくとても花が綺麗だった。昨日が山開きで、整備された、歩き易い登山道で、膝にも優しい。途中で水場もある。登山口にトイレが欲しい。ぬかるみが何箇所もあったのが欠点か。その2点を除けば「1級国道」の登山道と言える。雪は少し残っていただけ。



下山後、気になったのは登山届けの箱と記帳ノートがあるが、8組入山したのに、記帳したのは私のみ。推測だが「個人情報」が理由だと思う。ノート形式はその辺に問題がある。用紙をポスト投函形式にした方が記入者は増えると思うが。室谷地区は山菜採りから入山料を徴収している。たて看板が沢山あった。

帰路の御神楽温泉は奥のあすなろ荘にしたが、綺麗な設備で良かった。前回閉店していた糸魚川の「蟹屋」に滑り込みセーフ。閉店間際の特典で2ハイ1000円に4ハイおまけつきで知人宅に配布したり、ナンバーズ4買ったり、ガソリン入れたりして帰宅が遅れた。

前回の金北山、二王子岳は天候に恵まれなかったが、今回は良い天気と人情で良かった。

次は6/26~27の守門岳、浅草岳。これは同行の希望者を募集してみようと思っている。ヒメサユリは咲き始めるだろうが、時期柄天候が気になる。最後のえぶりざし(7/3~4)も。